

少年スポーツ教室

5月から開講

卓 球 ソフトボール バドミントン

少年とスポーツ



たくましい体と豊かな心を

今日の社会・経済状況の著しい変化の中で、少年をとりまく生活環境は複雑化し、ますます混迷の度を深めています。

このような現代社会において、少年たちの中に、自己中心的な性格や脆弱で虚無的な思考のひろがりが見られ、非行や問題行動など、諸々の青少年問題について、その対応と解決が大きな社会的課題となっています。

市内には、約八千人の小中学生がいますが、その少年の一人ひとりが自らを鍛え、どんな困難をも克服できる「たくましい体と豊かな心」を培っておくことは、変化の激しい社会において常に自己を充実し、生活を向上させていくための基礎づくりをすることだといえます。

特に少年時代はスポーツに熱中し、いろいろなスポーツを楽しむのに最もふさわしい時期であるとともに、

さまざまな知的・身体的経験を通過して自己を形成していく時期でもあります。この子どもから大人へと移行していく年齢期には、こうした体と心の全面的な発育発達の促進が最も大切な意味を持つといえます。

また少年期は、一生運の体力や運動能力の基礎をつくる時期でもあります。

筋力や持久性・調整力といった基礎的な体力は、この年齢から本格的につき、しかも偏った面だけを伸ばすのではなく、さまざまな面の体力をオールラウンドにつくらなければならない時期です。

青年、大人へと成長するなかでの秀れた身体機能と能力の完成は、こうした基礎体力をつくることによっても可能だといえます。

このように、次代を担う少年が積極的にスポーツ活動を行い、これを通じてたくましい体力とねばり強い気力を身につけ、同時に豊かな心を持った人間形成をはかっていくことは、特に大切なことです。

そして、生涯を通じて、健康で明るい充実した生活を営むとともに、豊かな地域づくりに貢献できる秀れた社会性を養っていくことは、幸福な人生を送るうえで大切なことであるといえます。

こうした点に立って、本市では、スポーツ少年団の育成をはじめ、各種少年スポーツ教室や大会の開催、野外活動を通じてのジュニア・リーダー研修、指導者研修などを系統的・組織的にすすめています。

市教育委員会では、少年スポーツ活動の充実をはかるため、五月から、卓球・ソフトボール・バドミントンの「少年スポーツ教室」を開きます。

これは、多彩な少年スポーツの普及と育成を行うために、本市の各種目団体(クラブ)の協力を得て実施するもので、系統的指導体制のもとに、地域に根ざした少年スポーツ活動を展開していくものです。

スポーツ教室の参加申込みは、教育委員会にある所定の用紙に必要事項を記入のうえ、参加費を添えて四月三十日までに申し込んでください。

なお、各種目とも定員に達しだい締切らせていただきます。

卓球

◆第1グループ
▼とき 毎月第2日曜日 午前9時～正午
▼ところ 第3向陽小学校 体育館
▼定員 30名

◆第2グループ
▼とき 毎月第2日曜日 午後1時～4時
▼ところ 第2向陽小学校 体育館
▼定員 30名

▼対象 小学校4年生以上の男女
▼参加費 千二百円
▼持ち物 ラケット・体育館シューズ

ソフトボール

◆第1グループ
▼とき 毎月第3日曜日 午前9時～正午
▼ところ 向陽小学校グラウンド
▼定員 50名

▼対象 小学校4年生以上の男女
▼参加費 千二百円
▼持ち物 グローブ
△指導クラブ 向日市ソフトボール協議会

バドミントン

▼とき 毎月第2日曜日・第4日曜日 午前9時～正午

▼対象 小学校4年生以上の男女
▼参加費 千二百円
▼持ち物 ラケット・体育館シューズ
▼指導クラブ 向陽バドミントンクラブ

お問い合わせ
教育委員会 社会教育課



楽しさいっぱい

高齢者スポーツ講習会

最近、ゲートボールなどを中心に、お年寄りのスポーツ活動が盛んになってきています。

市では、お年寄りのスポーツ活動のリーダーとなる人を養成することを目的に「高齢者スポーツ講習会」を次の要領で行います。どうぞご参加ください。

▼対象 市内在住の満60歳以上の方
▼とき 4月16日(土)・17日(日)・30日(土)・5月1日(日)・7日(土)

▼ところ 西向日運動広場(老人福祉センター北側)ただし、16日は第6向陽小体育館

▼内容 講義Ⅱ高齢者の健康づくり・体力づくり 実技Ⅱ健康体操・ゲートボール 講師Ⅱ中本健三氏(京都教育大 公認指導員)・市体育指導委員・申込み方法 4月15日までに教育委員会社会教育課まで申し込んでください。電話でも結構です。

▼お問い合わせ 教育委員会社会教育課 内線3225

“郷土の川を美しく、”

川はかけがえのない私たちの大切な財産です。その町を流れる川の美しさによって人びとの自然を愛する心がはかれるといわれます。

今、川に美しい流れをとりもどすために、私たちひとりひとりの協力と川をきれいにする日ごろの心がけが、ぜひとも必要です。さあ、私たちの手で郷土の川をいつまでも美しく守りましょう。

■ 向日市 川を美しくする会 ■

